

★→好エントリー    ○→利確    ★→×エントリー    ○→損切



⑩箇所：節目付近にエントリーポイントがあったら、逆指値狩ってくる動きを想定して、自分が損切する位置にエントリーポイント置かないと一生勝てんわこれは。毎回こういう感じで切られてる。毎回こうなる。機会損失をおそれるといより、実損失出まくってる。ラインと指数と節目の逆指値狩り迄根拠に含めよう。例えまた違う日に同じようなパターンが来た時エントリーできなかったとしても、損はないのだからまずは損を消して行かないとダメだって。今回であれば75日線も根拠に入れることできる良いところ。

⑫箇所：5日線は、まだ25・75日線とデッドクロスしていなかったが、ローソクでデッドクロスしたためエントリー。指数も下降トレンド入りしていた。しかし、エントリーするところが悪かった。こういう下落途中は戻りながら下降していくため並大抵の損切幅では太刀打ちできない。AA～DDの上昇トレンドが否定されたEEの段階で、FF・GGとHH・IIラインを引いて、JJ箇所ショートエントリーをするべきだった。そうしたら、LL所で利確出来て、⑫箇所の中途半端な場所でエントリーすることなく最大限利益を伸ばせた。トレンドが否定されたら、そのトレンドの角度を修正ではなく、反対のトレンドに転換してラインを引かないと角度変えるだけだったら一生角度変え続けて、一生損切のままになる。LL箇所利確して、OO箇所ドテンして、PP箇所利確。QQ箇所、下落トレンドのレンジ下限までの下落よりもトレンド上抜け(片固めWボトム)の方が事実を確認して可能性が高いと判断して、ロングエントリー。上抜けしなかったため損切。RR箇所再エントリーSS箇所利確。さらに強いことを確認TT箇所エントリー。抵抗となる箇所が、R1の抵抗線しかないためそこを目指して保有。引け売り。というのをしてみたい。実際は、トレンドライン上抜けが14:30を過ぎていてだましである可能性の方が高いなと考えてみているしかできなかった。この時間はだましが多いとか、こんなに強いはずはないとか全部無駄な考えだった。強いものはただ強かった。その事実に乗っかっていくしかない。だましだったら切ればよいだけというこ

⑮箇所：上記理想取り引き時にはエントリーすることがなかった場所。損切ラインがはっきり少ない損切で利益伸ばせる最後のチャンスだったためエントリー。